



夏休み期間の8月24日(水)に鯖江市役所JK課のプロデューサーである、若新雄純さんをお招きして、第2回燕ジョイ活動部を開催しました！！



## 8/24の議題

- ① 鈴木市長のあいさつ
- ② 講演会
- ③ ワークショップ
- ④ 事務連絡



## 鈴木市長からの挨拶

燕市は、日本一輝いているまちを目指しています。それは、そこに住んでいる人が輝くということです。



燕ジョイ活動部は若者会議により若い人たちに関わって欲しいと思って始めました。

燕ジョイ活動部のメンバーの皆さんには、型に当てはめず、もっと自由に楽しく活動をして欲しいと思っています。

## 若新雄純さんの講演

若新雄純さんより、「若者が動かすまちづくり」をテーマに、鯖江市役所JK課の取組事例を含めた講演を行っていただきました。

### 【以下、若新さんの講演内容（※抜粋）】

- ・ 大学や学校は『答え』を教えてくれるっばいところだけど、『答え』はもうないんじゃないかと思う。だから答えを探すのは一旦やめて、まずは何かやってみたほうがいい。
- ・ 普通の若者にまちづくりについての意見や声なんてまとまっていない。だけど、意見が無いわけではない。



住民参加にプロっばい「おばちゃん」や「学級委員を何回もやったような人たち」だけだとメンバーが固定化され意見が反映できない。だから、本質的なまちづくりには、普段まちづくりを考えていない『ゆるい市民（JKなど）』が参画できる『ゆるいまちづくり』が大切。

- ・ 鯖江市役所JK課では、大人のやり方を「教育」せず、年間計画も立てずに実施している。「大人は友達というパートナーシップ」を築き言いたいことを言ってもらい、「提案していいんだ」という雰囲気づくりが醸成されている。



- ・ 市民が楽しく活動できる。それが若者の活動する意味。自然と声が聞こえる環境をつくり、それをちゃんと認めて、どうしたら良いか考えてもらうことが大切。



## ワークショップ

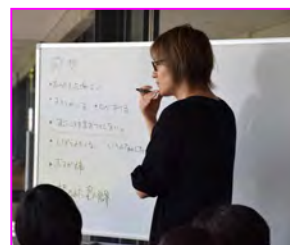
若新さんより JK 課方式のワークショップのやり方について学びました。

意見の出し方：少人数で、意見を出そうとしない！！人との距離を近くする。

- ① 雑談する⇒2人ペアで雑談しながら、提案について話し合う。
- ② 質問する⇒2人で話した内容を提案者に質問・意見する。
- ③ 数を出す⇒磨きがかかったアイデアを更に具体化するために、質問・疑問



・ アドバイス等を取りあえず数多く出すことによって、提案に肉付けがされ、全員のイメージが共有できる。



## メンバー随時募集

- ・ ノリがあって楽しめる、16歳～29歳の方が対象です。
- ・ 出身地域は問いません。
- ・ 参加費無料
- ・ 申込は、つばめ若者会議 WEB の申込バナー又は下記担当へお問合せください。

